

資格

詳しくは、ホームページ
www.f-jm.co.jp 参照。

j M

福井県立大学は、同大程度。対象は企業の経営幹部や幹部候補者。ビジネスを主催するにあたり、受講者は10月30日、11月6日、13日、23日、12月4日、11日の全6

同大学の教授のほか、著名な有識者、経営者が講師となり、企業経営に必要な実践的スキルを体系的に養成する。各回ごとに講義とグループディスカッションを

ターは講師を務める同大経済学部の小倉行雄教授が担当する。初回と最終回には、講義終了後に交流パーティーも催される予定で、参加者相互のネットワーク

来月8日 事業承継

式の集中などの相續題、事業承継税制、MAなど、事業承継に関する悩みを専門家が無料応える。問い合わせは 務局TEL03-1564-17487へ。

サーモウッド床や外壁材に提案へ

木材製品輸入・販売のフルタニランバー(金沢市、古谷謙明社長)は、寸法が狂いやすいなど悪いイメージがつきまわっていた能登ヒバ(アテ)に特殊な熱処理を施すことにより、化学薬品などは一切使わず、安定性と耐久性に優れた高付加価値木材「サーモウッド」として生まれ変わらせた。当初は床材や内装材、デッキ材、外壁材など向けに石

従来の市販されているウッドデッキなどは安価だが腐食しやすかった。また、耐用年数を

延ばすために防腐剤を注入したデッキ材は、廃棄時に産廃処理が必要となる。サーモウッドはこうした防腐剤などは一切含まない。デッキ材や外壁材では比重1以上の堅い熱帯雨林が主流となっていたが、地元材をサーモウッド化する



商業店舗のフローリング床にサーモウッドを使用した例

川県内中心に販売していく方針だ。通常の木材は、70〜80℃前後の温度で乾燥させている。これに対し、サーモウッドは、木が炭化する寸前の約210℃まで加熱。24時間〜62時間かけて含水率を5%以下まで落とし、寸法安定性が飛躍的に高まった。床暖房用フローリング床にも最適だ。また、熱によって木の細胞に含まれる糖分を減らしたことで腐りにくくなり、耐久性が向上した。

同社は、メープルやアッシュ、ビーチなど広葉樹の堅木を中心にサーモウッドを展開してきた。今回、アテ材をラインナップに加えたのは、石川県産材の利用拡大につなげるのが目的だ。広葉樹は熱処理で色が濃くなる性質があるが、アテ材のような針葉樹では外観はほとんど変わらないという。表面塗装なども普通の木材と同様に可能だ。

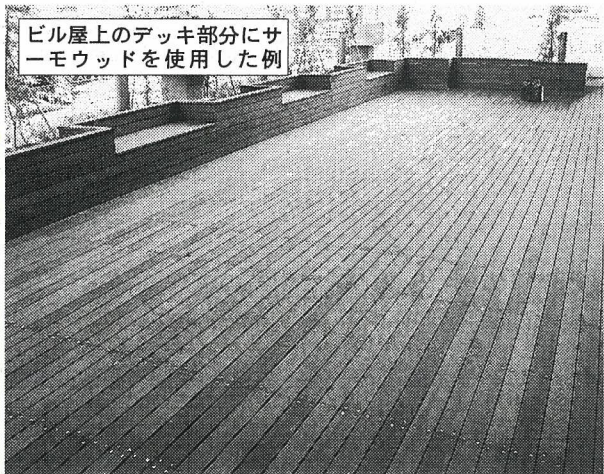
フルタニランバー

今年5月に公布された「公共建築物木材利用促進法」の基本方針には、国や地方自治体が3階建て以下の低層公共建築物を建設する場合、原則としてすべて木造化する方向が盛り込まれる見通しだ。施行は半年以内で、木材需要の拡大につながると思われる。こうした中で、全国

フルタニランバーでは、アテ材も含めたサーモウッドの販売目標を年間3000万円とした。今後はサーモウッドを設計段階から織り込んでもらえるように営業展開していく。数量が増えれば、将来は自社での加工設備導入も検討する予定だ。

アテ材 熱処理で寸法が安定

ビル屋上のデッキ部分にサーモウッドを使用した例



公共建築物の木造化で需要拡大も

公共建築物の木造化で需要拡大も